

部長の座を賭けた争い勃発!?!?

取材:佐藤甘味/編集:佐藤甘味 狼月兎紀 わんと 2026年2月18日



(参考画像1)

2月15日22:00頃にハート池前にて、但野氏が現部長のさいえんす氏に新聞部の部長の座を賭けた決闘(参考画像1)を申し込んだ。

勝負の内容は3本勝負のうち、2本先に取った方が部長の座を得られるというものであった。勝負の内容は○×ゲームであり、30分に及ぶ死闘が繰り広げられた。その結果但野氏が1本、さいえんす氏が2本取得したことで、さいえんす氏は部長の座を守り抜いた。

以下は、2人へのインタビューである。

但野氏「純粹に悔しいという思いが大きい。しかし、ただ負けただけではなく、そこから得られた経験があった。この学校の伝統を知らせることの貢献にも繋がったと感じる。」

さいえんす氏「勝ったからにはその責任を全うし、部長としてこれから頑張っていきたいと思う。この勝負を通して、新聞部の知名度の向上にも繋がったのではないかと感じる。」